



女性のための生活情報誌

リビング静岡

フジサンケイグループ

2008年4月5日 1221号

無料/土曜日発行 次回発行は4月12日です

リビング新聞は独自の厳しい掲載基準を設けています。読者の個人情報取り扱いには最善の注意を払っています。木曜日は金曜日にリビングレディがお届けしています。発行/静岡リビング新聞社

色・豊かなまち静岡

- 5 ...色・豊かなまち静岡弁当「不二の味覚」誕生
- 7 ...土地の選び方と賢い住宅ローンの組み方セミナー

L-WAVE 静岡の情報をゲットするならココ！
くらに役立つ情報満載！
http://www.s-liv.com

静岡リビング新聞社の個人情報保護の取り組みについて
静岡リビング新聞社が主として、読者から提供された個人情報について責任を持って管理します。当社へのアクセスや印刷物の発送、申し込みの申し込みや個人情報の提供、発行や送付目的の提供、発行の送付等の目的にのみ使用。またアンケート等の集計結果は個人を識別できない形でデータ処理し、当社の業務活動に使用。ご本人の承諾のない限り収集した個人情報を他者に提供することはありません。なお本紙掲載の広告主が提供する個人情報の取り扱いに関しては、各の広告主にお任せいたします。
(個人情報保護管理者:小嶋文子) 問い合わせ: 個人情報保護推進事務局 054-255-1231

まちの魅力が人をひきつけ



魅力ある人が動きだす



まちと人が出合った時、魅力あふれるまちが生まれる



「人+まち」で元気になる

動きだす 清水へ きてこ!

清水で今、面白いことが始まっています。まちをよよく愛する人が動き出した時、まちの魅力が一層大きなものになります。清水を元気にしようという活動する、ステキな人達を紹介します。
(佐藤伸枝、長谷川史記者)



港を中心とした取り組み。変わる清水に注目!

富士山を背に、美しい海が一望できる清水区。国際貿易港として、また、市民に開かれた交流拠点として多くの人々が集まる清水港をはじめ区内各所で、「ヒト・モノ・情報が行き交い・心豊かなあふれあいのある国際海洋文化地域」を目指して、さまざまな取り組みが進行中。その一部をご紹介します。進化する清水に注目です。

- ・新興津の人工海浜公園と緑地の創造
第2コンテナパースの建設と人工海浜公園の建設を開始
- ・JR清水駅を含む臨海地区の江尻・日の出のぎわい作り
JR清水駅西口の再開発と東口地区の利用活用。「清水港海づり公園」の設置や「清水港マクロまつり」などを開催
- ・清水港への客船の誘致
外国客船の清水港誘致のための海外ポートセールスを実施。「クインエリザベス2号」をはじめ、多くの大型客船が寄港している。平成21年4月には「クリスタルセレニティ」の寄港が予定されている
- ・折戸湾の活用
にぎわい作りのための今後の活用が注目されている
- ・三保半島
国道150号バイパス整備が完了。三保の松原などの観光地へのアクセスがスムーズに。観光客の一層の集客が期待される。災害時における緊急輸送道路の確保と、高次医療施設へのアクセス強化を図る

清水ブランド 鯉口シャツ

清水のまちに元気を発信
地域ブランドシャツで「まちおこし」



清水ブランド大作戦実行委員会のメンバー、海野純純さん

清水大好きなブログ仲間が集い「清水ブランド大作戦実行委員会」を結成。県内の起業や新規事業ブランドを対象とした「第6回 SOHOしずおかビジネスコンテスト」に、地域活性化プロジェクトとして、清水区のブランドシャツを出品。みごと奨励賞を受賞しました。

インターネットでの交流を飛び出し、まちおこしの志を共有する仲間へと進展したメンバーは、区内の主婦や商店主ら、約10人で構成されています。静岡合併以降、うすれつつある「清水」の名を後世に残したい。清水のまちにもう一度元気を！と奮闘中です。

「昭和のころ『くれてやるんて、もってきな』と、活気があった清水のまち。このシャツが、人がこのまちを訪れる目的となってくれたらと思っています。『ヒトとマチとモノ』が再びつながって欲しい」と、海野純純(じゅんこ)さん。

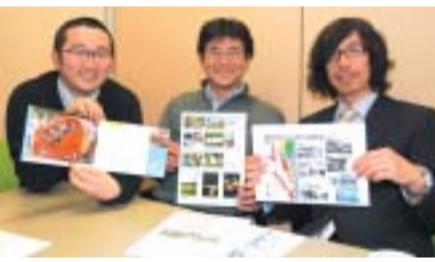
注目の清水ブランドシャツは、祭りなどでおなじみの鯉口(こいくち)シャツと称される七分袖のボタンシャツを原型に、半袖とアロハタイプを製作予定です。デザインは一般公募で寄せられたものを参考に、勢いのある波頭と、港まちらしい蘭字(らんじ:輸出用の茶箱に使われた特徴のある欧文字)を生かす方針で決定。染織や縫製などの製造工程もすべて地元の老舗に依頼したそうです。清水発にこだわった逸品は、近く限定販売の予約受け付けが開始されます。

みなと清水が熱く盛り上がる夏祭りに、とびきり粋なシャツで出かけては。

港ま清水らしい深いブルーと、力強い波頭が印象的なデザインの清水ブランド「鯉口シャツ」

問い合わせ
清水ブランド大作戦実行委員会
リビングハウスこまつ内
☎054(366)2335
http://loveshimizu.eshizuoka.jp

「シミフェス」実行委員会から、発起人の久保田さん(中央)と、海野純純さん(右)。



「清水がいいまちだと思ってくれる人を増やしたい、そんな思いを込めて、コンセプトに『いいまちずらプロジェクト』をにかけています」という「シミフェス」実行委員会の久保田哲史さん。「そもそも始まりは、合併後、旧清水中心市街地が地盤沈下するなか、何とか活気作りをしたいと清水駅前銀座で行った「銀座ライブ」。その後、音楽とフリマの市民参加型イベント『シミフェス』へと発展していきました。イベントを通して多くの人と出会い、交流の輪が広がり、イベントも変化していったといえます。『リユースカップ』の利用促進活動をしている榎木康裕さんもその一人、昨年からはコンセプトに「エコ」が加わりました。清水にはまちを愛している人がたくさんいます。多くの人が思いを表現し、交流し、まちづくり活動をする。『シミフェス』がそんな場になってくれたらと思っています。今回は、4月26日(土)・27日(日)、午前10時～、JR清水駅東口イベント広場で開催されます。

今回の「シミフェス」のもう一つの見どころが、「ペロタクシー」の運行実験。「港まちの魅力を発信したいと考えていた時に、ペロタクシーの存在が浮上。プロジェクトとして一気に動き出しました」という「シミフェス・ペロプロジェクトチーム」の今川俊一さん。当日は、JR清水駅東口、静岡鉄道新清水駅、次郎長通、清水港マリパークの四つの拠点を結ぶコースを回遊します。乗車は1区間のみ(乗車賃200円程度)。「ゆったりとした自転車ならではのスピードで風景を楽しんで欲しい。いつもと違う視線でまちを眺めることで、新しい魅力が感じられるはず。ペロを降りたあとはまち歩きを楽しんでください。ルート沿いには、清水港の原風景ともいえる『石蔵』が見学できるスポットもありますよ。プロジェクトは多くの協力者の心強いバックアップに支えられています。「実験で得た情報を、次に生かしていきたい。街づくりや清水のにぎわい作りのツールとしてペロを役立てたいです」と、意欲的です。

ペロタクシー VELOTAXI

「シミフェス」についての問い合わせ
☎090(3931)0021(久保田さん)
http://www.shimifes.com

「まち+港」xペロタクシー
かわいい「ペロ」が清水を走る
いつもと違うまちに出合える

「人+まち」で元気になる

動きだす 清水へきてこ!

「音楽+人+Eco」
シミフェスから発信する
街の魅力と人のつながり

第6回 シミフェス



ライブ演奏や竹のドームに灯りを灯す「スタードーム」作りなど、親子で参加できるワークショップが開催される

26日(土)「アカリ」スタイルディ:「スタードーム(灯りのかまくら)」を作るワークショップ、灯りとライブのタペ「スロウライブ」など
27日(日)「エコ」スタイルディ:ライブステージ、フリーマーケット、環境・街づくり関係の出展、エコバッグ作りやゲームなど



ペロタクシーってどんなもの?
1997年にドイツの首都ベルリンで「環境にやさしい交通システムと、広告が一つになった乗り物」として開発された自転車タクシー。電動アシストが付いた三輪車で卵形のユニークな車体が特徴。ヨーロッパを中心に世界各都市で運行され、日本でも、2002年に京都で初めて導入されて以来、現在21都市で活用されています。また、スピードや自線など、クルマやバスでは体験できないまちとの一体感が感じられる「新しい観光スタイル」としても注目を集めています。

copyrights (c) 2007 VELOTAXI JAPAN. All Rights Reserved

エスパルス ドリームプラザ

7月下旬、清水港に新しいランドマークが誕生!
日の出地区の活性化に注目



観覧車の完成予想図。「観覧車に名前を付けたら」という声にこたえ、愛称の公募が予定されている

「マリパーク」などを会場に多彩なイベントを展開

2008年から、日の出地区全体の指定管理者となった「ドリームプラザ」は、複合商業施設の運営だけでなく、日の出地区全体の活性化にも取り組んでいます。現在は「マリパーク」でフリーマーケットなどのイベントが実施されていますが、今後はさらに活発に展開していく予定と、港を中心に、新たな人の流れが生まれそうです。

問い合わせ / ☎054(354)3360



「清水とエスパルスを盛り上げよう!」という趣旨のもと、3月から「オレンジバンドキャンペーン」がスタート。これは、清水駅前グルメ通り振興会と同商店街振興会がエスパルスとともに行うキャンペーンで、清水エスパルスを応援すると同時に、清水駅周辺の飲食やアミューズメント、宿泊をより楽しんでもらおうという企画。オレンジバンドを持って協賛店を訪れると、お得なサービスや特典が期間中何回でも受けられます。あなたもこのキャンペーンに参加してみれば、実施期間は、2009年3月19日まで。

問い合わせ
清水駅前グルメ通り振興会
オレンジバンド事務局
(清水シティホテル内)
☎054(366)2266

ホームチーム
清水エスパルスを応援して
地元商店街の活性化!

オレンジバンド キャンペーン



「清水映画祭」の主催者でプロデューサーの上田敏司さん

▶【A会場】MOVIX清水:4/5(土)~4/25(金) / 「レントランドの夜警」「君の涙 ドナウに流れ」「勇者たちの戦場」「歡喜の歌」「ラスト、コーション」「転々」「いつか眠りにつく前に」「バンス・ラビンス」「ダージリン急行」▶【B会場】清水文化センター(中ホール):4/17(木)・4/18(金) / 「陸に上がった重盛」「女はみんな生きている」「ミルコのひかり」「僕のピアノ/コンチェルト」▶【C会場】夢町座:4/26(土)・4/30(水) / 「TOKKO特攻」「愛と死の記録」「かしの旅」「響(かんざし)」「二十四の瞳(全18作品)」

清水映画祭事務局
☎054(366)5903



浅草で活躍する講師、田辺駿之介(静岡市出身)と組んで、この秋「シネマ講談」(清水発・オリジナル)を計画

「夢町座」についての問い合わせは、上田さんへ(清水映画祭事務局に同じ)

夢町座 Yumemachi-za small theater

商店街に生まれ
笑いと感動があふれる
小さな劇場(ミニシアター)

映画ファンに愛されて20年
進化し続ける
清水のまちの映画祭

清水映画祭 Shimizu Eigasai Films Festival

多くの映画愛好家が、開催を心待ちにしているイベント「清水映画祭」が、今年活動20年を迎えました。活動を始めたくっかけを「映画が好きだからかな」と語る、清水映画祭主催者の上田敏司さん。「あのころ、東京で単館系の映画が盛んに上映され注目を集めていた。地方の映画館では見ることができない優れた作品を多くの人に見て、楽しんで欲しい」と、当時を振り返ります。第3回の開催後、清水の映画館が閉鎖され、3年間活動がとまってしまったことも。20年の間にさまざまなことがありました。それでも活動を続けて来られたのは「多くの人の支えがあったから」といいます。これからの展望は、「清水映画祭」を、アジアの新しい監督の作品を紹介する『清水国際映画祭』にしていきたい、映画祭をキーポイントにした、映画による文化交流を目指しています。市民や行政とコラボレートして、楽しいお祭りのようなものになってほしいですね」と、語ってくれました。「第14回清水映画祭」は、4月5日(土)~30日(日)、MOVIX清水、清水文化センター(中ホール)・夢町座(DVD上映)の清水区内の3会場で開催されます。

上田さんは、清水駅前銀座商店街にある実家、柏屋酒店の2階を開放して「夢町座」という小さなホールを立ち上げました。今から2年前のことです。「昔から芝居が好きだったこともあり、若い人達に活躍の場を提供したいという気持ちが大きかったですね。それから『清水を夢のまちにしよう!』という思いもありました。地方都市でありながら演劇活動が盛んな静岡。ここ10年は、特に盛んに行われているようです。『清水で活動している若い人達は、すぐに東京などに出ていってしまう。地元には、発表の場がないからです。』夢町座。がそういった若い人達の作品発表の場であり、新しい才能を発掘する場になっていけばと思っています。ホールはレンタルスペースで、プロ・アマ問わず誰でも借りることができます。今まで、演劇(少人数)や朗読会、三味線、お笑い、ミニコンサートなどが開催されました。「小劇場だからその魅力は、演劇や芸人さんと身近にふれあえること。地域の人達に楽しんでもらいたい。特に、これから街を支えていく若い人達が楽しめるものを企画していきたいですね。ミニシアターとしても機能するので、新しい映像作家の作品発表の場『夢町座 映像コンペ』も計画中です。今度の清水映画祭では、会場の一つになっています。